

令和三年度 入学式 式 辞

学校法人藍野大学 びわこリハビリテーション専門職大学の令和三年度に入学された新入生の諸君、入学おめでとうございます。また、本日は新型コロナウイルスの流行に伴い、入学式を挙行できなかった令和二年度入学生の諸君にも参列いただいています。改めておめでとうございます。

重ねて、ご列席のご家族の皆様には心からお慶び申し上げます。

まだまだ新型コロナウイルスの流行は終息したとは言えず、第四派の兆しすらみられています。このような中で、関係者の努力のおかげで、本日、このように感染防止策を講じて入学式を挙行できますこと、感謝申し上げます。

さて、皆さんは自分が潜在的に持っている無限とも呼べる大きな可能性と創造性に気づいていますか。私たち教職員は、皆さん一人ひとりの、「こういう仕事がしたい」「こういう仕事に関わっていきたい」という漠然とした夢を、「なりたい仕事」へと具体的な目標に繋げていきます。

しかし、私たち教職員のみが努力しても実現できません。皆さん一人ひとりが真面目に目標に向かって努力しなければなりません。

これから始まる4年間で長いと思う人も多いと思いますが、昨年入学した諸君は、あっという間の一年間だったと思います。4年間は、日数にして1,460日、

時間にして 35,040 時間しかありません。もちろん、そのうちの半分は睡眠や食事等に使われています。人が、それぞれの分野で一人前と呼ばれるためには、最低 1 万時間が必要であると言われていています。これは「1 万時間の法則」と呼ばれるもので、ある分野でスキルを磨いて成功するためには、1 万時間の練習・努力・学習が必要だというエリクソン教授らの研究をもとに、マルコム・グラッドウェル氏が提唱したものであります。

つまり、皆さんが卒業して、一人前のリハビリテーションの専門職業人になるためには、1 日 7 時間の勉学を真面目に毎日行い、それを 4 年間続けた時間に相当します。しかし、これは休日も含めて毎日行った場合の数字であり、休日に遊んだり、体調不良の日もあるでしょうから、大学での学びの他に 5000 時間、つまり 1 日 3 時間以上をプラスして取り組まないと達成されません。

夢を見ることは自由であり誰にでもできます。また、時間は誰に対しても平等に与えられるものであります。しかし、具体的な目標をもち、計画を立てて時間を有効に使うことができなければ、夢を実現することはできません。これからの皆さんの努力次第で、自分の未来は大きく変えることができます。それが「1 万時間の法則」です。

答えが一つではないことに、どう対応していけるか、どう状況を切り開いていくか、どう問題解決していけるかという能力をつけるのが大学での学びです。こ

これを「キー・コンピテンシー」といいますが、「状況を分析し、他人に論理的に説明し、情報を批判的に捉える能力、つまり、さまざまな分野の知識をつなぎ合わせて、問題解決に導いていく能力」のことを言います。

このような能力を育むための教授方法の一つが、アクティブ・ラーニングであります。これは授業形態のことではなく、肝心なのは、皆さんが授業に積極的に参加することであり、「主体的・対話的で深い学び」のことです。

講義でよく解らなかつたことは、その都度、質問したり、自分で復習して理解するようにして下さい。1年次に身に付けた学習態度が、その後の大学生活を左右します。遅刻や欠席、また折角出席しても居眠りなど中途半端な姿勢で取り組んでいては、解らないのは当たり前です。解らないことだらけの講義では楽しい筈はありません。真剣に取り組む、解り始めると、学ぶことが楽しくなります。繰り返しますが、1年次から、学ぶことが楽しめるように取り組んで下さい。

また、是非、身につけて欲しい能力は「社会性」です。社会性とは、他人と交渉したり、他人を説得したりする能力、いわゆるコミュニケーション能力と社会人としてのマナーのことです。講義中の私語や飲食などは周りの人が迷惑します。人の役に立つ職業人を目指す皆さんには、人の迷惑になるような行為や言動を慎むよう心掛けて下さい。

4年間の大学生活を送る上で、勉強や仲間との人間関係において、こんなはず

ではなかったと思い悩むこともあると思います。しかし悩みと人間的な成長は表裏一体です。悩みがあるからこそ成長できるのです。

最後に、まぐれの成功はあっても、まぐれの失敗はないということも是非、覚えておいて下さい。失敗には必ず原因があります。失敗して落ち込むだけでなく、同じ失敗を繰り返さないためにも、失敗から学んで下さい。そして、失敗を恐れずチャレンジし続けて下さい。

卒業時の自分の姿をイメージし、具体的な目標をもってこれからの大学生活を大切に過ごしてくれることを期待します。

令和3年4月7日

学長 山川 正信